

第3

初期消火

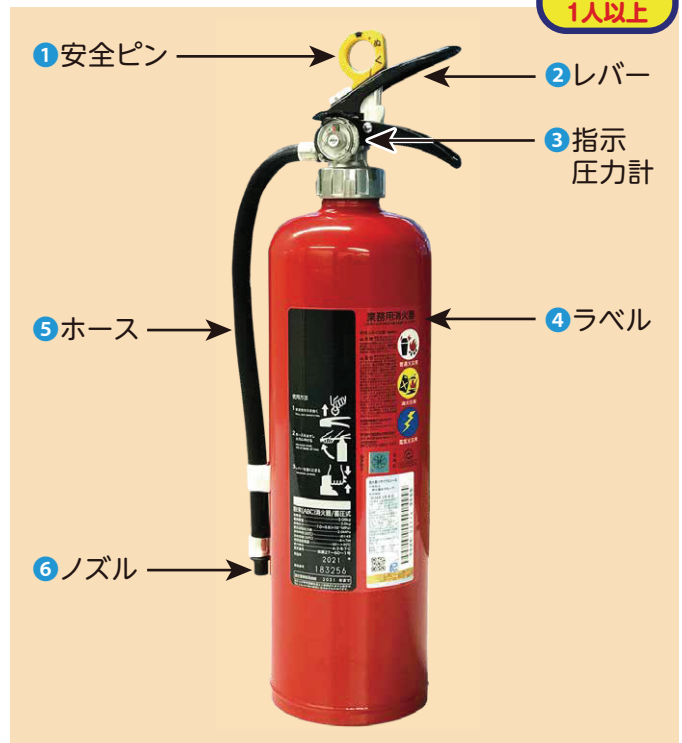
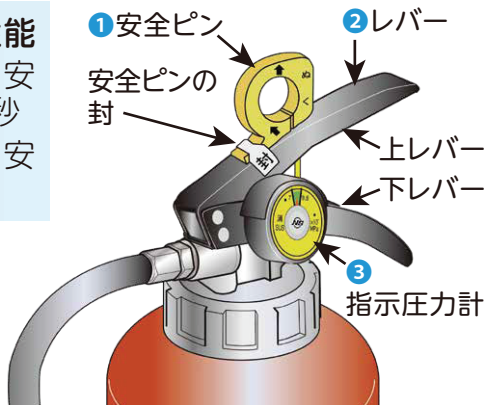
1 消火器の使い方



1 各部の名称と性能

消火器は、容易に持ち運びができ操作も簡単なことから、初期消火の設備として有効です。訓練により取扱いを習熟することで、効果的な消火活動を行うことができます。わたしたちの身近にある代表的な粉末消火器の紹介をします。

- 消火器の性能
- 放射時間目安 11秒～18秒
 - 放射距離目安 3m～6m



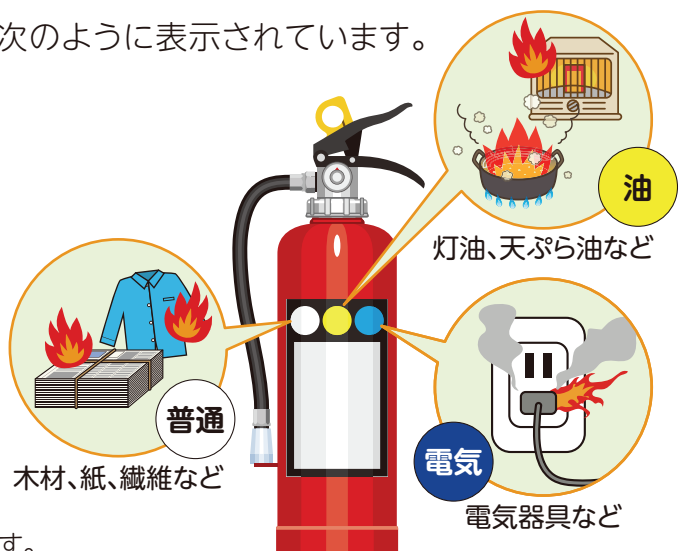
各部の名称	各部説明
1 安全ピン	レバーを握っても放射しないよう取り付けられています。使用前に抜きましょう。
2 レバー	上レバーと下レバーがあり、上レバーを押さえることにより、消火剤が噴出します。
3 指示圧力計	消火栓内の圧力を示しています。指示圧力値が圧力計の緑色の範囲内にあると適正です。
4 ラベル	使用期限や使用法、適応火災などの情報が記載されています。
5 ホース	ゴム製のホースです。
6 ノズル	消火剤が噴出する部分です。消火時に火元に向けます。

2 消火できる火災種別の表示

消火器のラベルには、消火できる火災の種別が次のように表示されています。



適応火災のマークが旧規格の消火器は、2021年12月31日までに、新規格消火器への交換が必要です。



3 操作の流れ



ポイント

【 消火の前の心がけ 】

- 隣近所の人に消火や119番通報の協力を求めましょう。
- 火元に着く前に放射してしまわないように、安全ピンは運ぶ前に抜かないようにしましょう。

【 消火時はここに注目! 】

- 消火する時には、何が燃えているのかを確認しましょう。
- 消火器による消火の目安は、炎が天井に到達するまでです。

【 常に避難を念頭に! 】

- 危険と感じた場合は、直ちに安全な場所に避難しましょう。
- 放射すると、白煙や粉末が部屋に充満して視界が悪くなることを想定しておきましょう。
- 消火が困難な場合の退避を考え、避難する方向(屋外)を背面にして消火しましょう。

